

松本市 健康づくりの取組み



長野県 松本市







長寿長野県の状況





長野県の健康長寿について

〇長野県の平均寿命は男女共に全国一 (平成22年)

男 性

女性

1位 長野県 80.88歳

長野県 87.18歳

2位 滋賀県 80.58歳

島根県 87.07歳

3位 福井県 80.47歳

沖縄県 87.02歳

全国

79.59歳

86.35歳

- 〇長野県の長寿は世界的に見てトップレベルの水準
- 〇県民一人当たり高齢者医療費は低い方から4番目

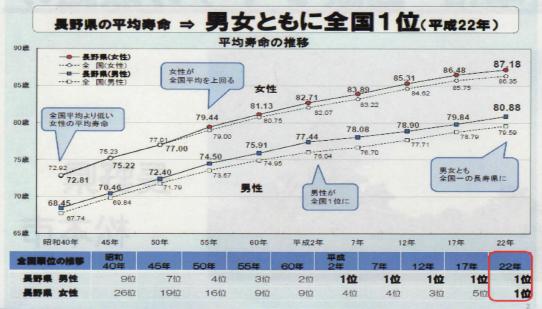
長野県





長野県の平均寿命

平均寿命 ―日本の中の長野県―

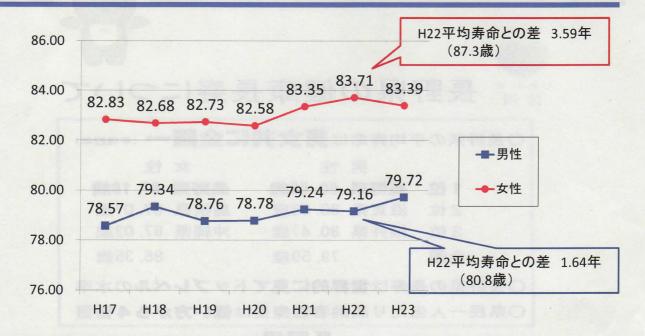


The Sustainable Healthy City, Matsumoto





松本市の健康寿命



* 国の「健康寿命の算定方法の指針」に基づき、介護保険データを用いて算定したもの





長野県の医療費

県民一人当たり医療費

- 1人当たり医療費
- ⇒ 低い方から10番目
- 1 人当たり後期高齢者医療費 ⇒ 低い方から 4番目



The Sustainable Healthy City, Matsumoto





長野県 健康長寿の要因

健康長寿の要因

①高齢者の就業率が高く、生きがいを持って生活している

項一目	長野県 (順位)	全 国
高齢者就業率(H22年度)	26.7% (1位)	20.4%

②野菜摂取量が多い

項	8	長野県	(順位)	全国
野菜摂取量(1人1日当たり) (平成18~22年平均)	男性女性	379g 353g	(1位)	301g 285g

③健康ボランティアによる自主的な健康づくりへの取組が活発

(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	長野県 (順位)	全国
食生活改善推進員1人当たり年間活動回数(H23年度)	22.2回(10位)	17.2回
保健補導員設置市町村数 (H24年7月1日現在)	76/77市町村	県下ほぼ全域で活動 している例はない

④専門職※による地域の保健医療活動が活発

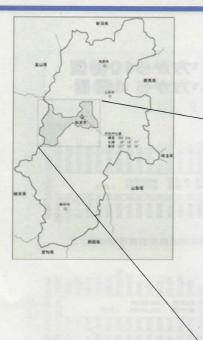
項目	長野県 (順位)	全国
保健師数(人口10万人当たり) (H22年)	61.9人 (2位)	35.2人

※専門職:医師、歯科医師、薬剤師、保健師、管理栄養士等

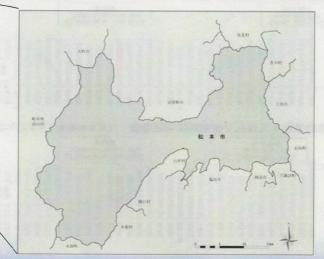




松本市



東西52.2km 南北41.3キロメートル 面積978.77K㎡ 長野県内で最も広い面積。



The Sustainable Healthy City, Matsumoto

松本市の主要指標

項目	数 値	基準日
面積	978.77平方キロメートル	平成22年3月31日
人口(総数)	242,263人	平成26年4月1日
人口 (男)	118,578人	平成26年4月1日
人口 (女)	123,685人	平成26年4月1日
世帯数	101,908世帯	平成26年4月1日
老年人口割合	25.6%	平成26年4月1日
人口密度	248人/平方キロメートル	平成26年4月1日

20~39歳女性人口(減少率)	29.9%	日本創成会議公表値
総人口(減少率)	15.2%	日本創成会議公表値
0~4歳の人口(減少率)	31.9%	国立社会保障·人口問題研究所公表值

(注)2010年と2040年を比較した場合の減少率





まちづくりの基本理念

基本理念:「量から質へ」の転換

いのちの質・人生の質の向上

基本方針:20~30年後を見たまちづくり

基本姿勢:① まちづくりの主役は市民

行政は縁の下の力持ち (行政依存からの脱却)

② 部局横断のネットワークで

③ みんなで"いいまち"を創ろう!

《協働》

(職員や市民の意識改革)

The Sustainable Healthy City, Matsumoto





松本市の将来都市像



美しく生きる。 健康寿命延伸都市·松本

超少子高齢型人口減少社会におけるまちづくりの都市戦略

「健康」を、20年・30年後を見据えた「活力ある超高齢社会の源」と捉える

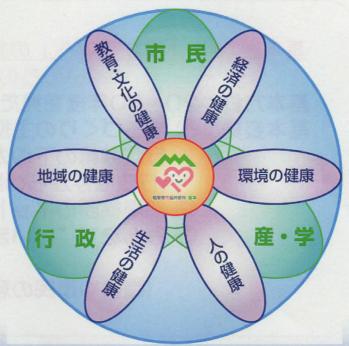


松本市の6つの健康

- ① 人の健康
- ② 生活の健康
- ③ 地域の健康
- ④ 環境の健康
- ⑤ 経済の健康
- ⑥ 教育・文化の健康

市民、産・学、行政の協働



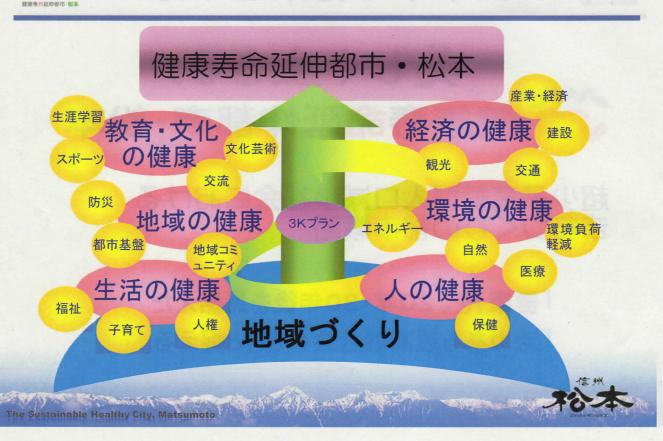




The Sustainable Healthy City, Matsumoto

美しく生きる。

健康寿命延伸都市の創造は地域が基盤



美しく生きる。

地域力の向上が地域づくりの原点

健康寿命延伸都市·松本

6つの健康づくり



5つの重点課題

地域課題の解決・生活の質の向上

学習

実践

ソーシャルキャピタル

信頼関係

新たな仕組み

「お互い様」の精神による助け合い

住民自治力

地域教育力

地域連帯力

The Sustainable Healthy City, Matsumoto

「健康寿命延伸都市宣言」

健やかでいきいきと暮らすことは、私たちの共通の願いです。 そのためには、自らの心と体、そして、私たちが暮らす松本のま ちが健康であることが大切です。

私たち松本市民は、一人ひとりの「いのち」と「暮らし」を 尊重し、「健康寿命」の延伸につながる人と社会の「健康づくり」 をめざし、ここに松本市を「健康寿命延伸都市」とすることを宣言 します。

平成25年3月14日議決





ソーシャルキャピタル

松本市の地域力

◆ 住民組織健康づくり推進員食生活改善推進員



- ◆ 福祉ひろば
- ◆ 大学、民間企業等との連携



The Sustainable Healthy City, Matsumoto



ソーシャルキャピタル 松本市健康づくり推進員

市民の「健康づくり」の一翼を担い、「健康寿命延伸」に向けて活動をしています

活動の目的

- ●地区住民の身近なところから、健康づくり事業を推進する。~ 学んで・地域へ ~
- ●健康増進の推進者として、関係機関と連携し、健康づくり事業が地域にゆきわたるように活動する。

昭和50年から設置 OBはすでに2万人 平成26年度 910名(女性870名、男性40名)





松本市食生活改善推進員

地域で食を通じた健康づくり活動を展開している

ボランティアさん

昭和57年発足 会員386人 健康づくり推進員のOBも多数参加

- •育児サークルなどでのおやつづくり
- •小学生を対象に親子料理教室
- ・男性を対象に適塩でランスのとれた 食事づくり教室
- ・高齢者を対象とした会食会 等



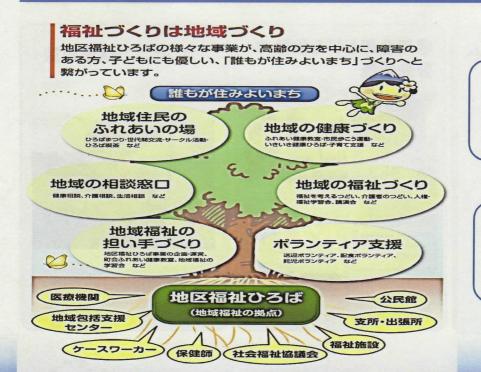


松本

The Sustainable Healthy City, Matsumoto



福祉ひろばとは?



平成7年~ 35の行政区すべて に設置

運営は、地域住民が 中心となって実施 行政はサポート





福祉ひろばでの活動風景

カラオケで健康づくり



子どもと高齢者の交流



The Sustainable Healthy City, Matsumoto

美しく生きる。

健康寿命延伸都市・松本プロジェクト (企業連携事業)









連携その1 若いときからの認知症予防対策事業 ~脳活ポイントプログラム~



連携企業・団体 41社

フィットネスクラブや 新聞社・飲食店など



The Sustainable Healthy City, Matsumoto



連携その2 松本信用金庫との取り組み

がん検診の PRパンフレットを作成



松本信金のお客様、職員へ配布







が心検診を積極的に





連携その3 ローソン店舗駐車場で健康相談





J2 松本山雅×コンサドーレ札幌 松本市×札幌市

がん検診・特定健診のPR



ホームゲーム には 1万人が来場 チームとともに戦う 明日のために







松本市健康づくり計画のポイント

第2期 松本市健康づくり計画

平成23年度からスタート

スマイルライフ

「メタボリックシンドローム」と 「ロコモティブシンドローム」の予防





一次予防を重視

生涯を通じた健康づくり 妊娠期~高齢期

地域や企業・団体と連携した健康づくり



The Sustainable Healthy City, Matsumoto



働き盛りの生活習慣病予防事業







食育推進事業

第2期食育推進計画「すこやか食プランまつもと」に基づいて食育を推進健康・環境・農政・商工・給食など食に関するさまざまな分野と連携



1 · 2 · 3で バランスごはん 1日2食は3皿運動

1日の内2会は「主命・主禁・副業」 3つのお皿のそろった会事にしましょう

- 〇小中学校への出前講座
- ○高齢者への口腔体操の 普及·啓発
- 〇高校卒業時のレシピ集の配布

などをはいる。

The Sustainable Healthy City, Matsumoto



健康寿命延伸に向けて 市民歩こう運動からスタート





美しく生きる。

♡ 市内35地区すべてにウォーキングマップ





地域の資源を活かした ウォーキングマップを市民 が協力して作成





